

【コラム 鳥獣害対策の推進】

近年、ニホンジカ、イノシシなどの野生鳥獣の生息域の拡大や個体数の増大に伴い、野生鳥獣による自然生態系への影響、農林水産業や生活環境への被害が深刻化しており、鳥獣捕獲の担い手となる狩猟者の減少などが問題となっています。

そこで、本県では**鳥獣害対策の担い手である狩猟者を確保**するため、受験者の利便性を考慮し、休日、農閑期を含めた年に2回の**狩猟免許試験**を開催しています。

<平成28年度狩猟免許試験開催実績>

- 第1回 平成28年8月7日（日）（刈谷市） 受験者件数：310件
- 第2回 平成29年2月21日（火）（岡崎市） 受験者件数：267件



適正検査の様子



技能試験（銃猟）の様子



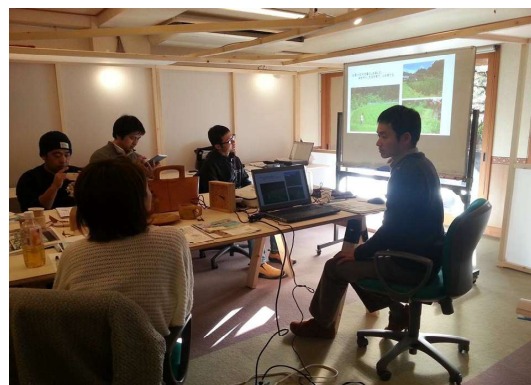
技能試験（わな）の様子

また、平成27年度から県内の農業関係の**高校や大学**において狩猟の魅力、社会的な役割等を伝える**出前講座**を開催し、鳥獣捕獲の担い手となる若い世代の狩猟者の確保を図っています。

【コラム 三河の山里起業実践者】

愛知県では平成 28 年度、地方創生推進交付金を活用し、農林業の振興や 6 次産業化、観光振興などを志す都市部の方を中心に、三河山間地域で起業を目指す方の「**起業プラン**」を募集し、夢の実現への支援を行いました。初年度となる平成 28 年度は、10 名の起業プランを採用し、その中には、地元食材を利用して特産品の開発を目指す方や、障害を持つ方が利用できる就労支援事業所の開設を目指す方など、様々なプランが提案されました。

起業実践者に向けた**セミナー**(開催回数 10 回)では、起業された先輩のノウハウを伺うことができ、実りあるものとなりました。なお、平成 29 年 2 月 21 日に開催されたセミナーには、SOZOS の阿曾氏を講師として招き、起業の為に必要なノウハウを、経験談を交えながら起業実践者に伝えました。経験を基に語られる起業の先輩の言葉は説得力のあるものでした。



セミナー風景

また、報告会として『三河の山里起業実践者報告会』を新城市大野にある鳳来館で開催(平成 29 年 2 月 22 日)しました。自分のビジネスプランを実現するべく活動を行ってきた 10 名の起業実践者たちが、約半年間の活動成果を発表する機会となりました。多くの関係者が来場し、実践者のプレゼンテーションに耳を傾けました。



起業実践者報告会の様子

近い将来、起業実践者の 10 名の皆さんが、起業プランを実現させ、後に続く人々の成功事例となることで、**新たな起業実践モデルの構築**と、**ローカルベンチャー創出**や地方創生のための**人材育成・確保**に繋がることを願っています。